

ふるさと歴史散歩

〔第180回〕 松崎八幡宮と総社の争論 その五



幻の多家神社をめぐる惣社と八幡社の争いは神官同志の対立であった。

しかし安永八年(1779)に起こった「虫送り祈禱の御札事件」は少し様相が異なる。事件の概要はこうだ。同年7月、村の南部に稲の害虫が発生した。稲の害虫は、直接年貢の負担と収取に結び着いただけに、百姓も藩府双方とも細心の注意を払っていた。また害虫が発生した場合は、農薬などないこの時代のこと、虫が退散するよう祈禱する呪術的な方法がとられた。府中村の古文書に稲害虫の発生を聞く

と、郡役所から駆除の祈禱を村内の社寺に申し付けた記録が残っており、「神頼み」と「仏様頼み」が当たり前だったことがうかがえる。

祈禱の方法に話は移る。幕末に3度にわたり疫病(虎列刺)が大流行した。我が国に初めて入ってきたこの急性伝染病は、知識がないために対症法が分からず、多数の患者と死者を出した。特に藝州(広島)と浪華がひどかったよう

で、朝発症して夕に死ぬか、2〜3日で死んだから人々を恐怖のどん底に突き落とした。藩内の医者仲間も、この疫病を直死ぬるから「三日コロリ・暴瀉病・横死病・吐瀉病・霍乱等」と呼び、漢方薬では全く効き目が無かった。

そこで、藝州藩府が領内郡村に出した対策は、広島城内の三の丸の稲荷社(明治維新以後、解体され府中村の多家神社として移築、明星院、厳島神社で祈禱)3日間を執行することであった。安政5年にコレラが大流行した際は、先例にならって藩役人や侍医らを領内各地に派遣して、村々の神社で疫病退散の祈禱を行っていた。さらに三日コロリ・横死と記した護摩木を藩主の浅野茂長藩主が自ら携えて、府中村の長福寺と道隆寺に参詣し祈願していることが『広島県史』近世に記されている。またこの年は、コレラと多数の死者が出た麻疹のダブルパンチに見舞われた年でもあった。麻疹対策も、城内三の丸稲荷社で3日間

祈禱後の御札を下げ渡すので「郡中は村に一枚、各町も町に一枚ずつ下げ渡すので遺漏なきよう心得よ」と言うお触れがでている。

さて、府中村の稲害虫発生事件に話を戻すと、百姓中の願いによって虫送りの祈禱を八幡社に頼んで執行し「多家神社」と記した御札を配った。御札は庄屋から組頭を通じて小百姓にまで配られた。南の百姓は、早速板に貼って、田圃へ立てた。ところが北の百姓は「多家神社」の事は両者差違の根元で争論中であるから、この御札は受け取れないと拒否する者や役人へ返却する者が出た。



蝗逐の図(大蔵永常「除蝗録」、
『日本農書全集』15、昭和53年より)

府中町文化財保護審議会会長

横田 禎昭

朝パッ君ネットワークおすすめレシピを紹介

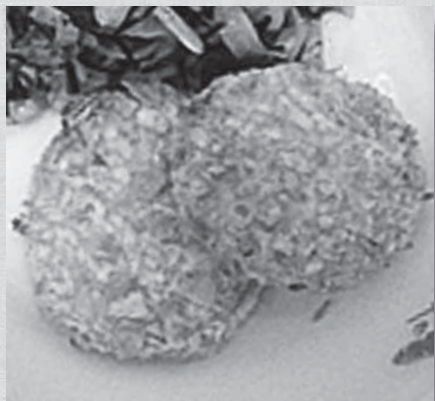
パッとカンタン!

朝パッ君レシピ

クリスマスにもおすすめ!
お好みでケチャップをつけてね♪



手作りチキンナゲット



材料(4人分)

鶏ミンチ	200g
木綿豆腐(水を切る)	70g
たまご	1/2個
片栗粉	大さじ1
コンソメ	小さじ1
塩	少々
こしょう	少々
コーンフレーク	適量

作り方

- ①コーンフレーク以外の材料をよく混ぜ合わせる。
- ②小判型に形作る。
- ③コーンフレークをまわりにつけてオーブントースターで中まで火がとおるまで焼く。

木綿豆腐を使ったヘルシーなナゲットです!
オーブントースターで焼くときはコーンフレークを焦がさないように注意してください!

レシピ提供 府中小学校 関健康推進課 ☎286-3257